資料３

第1回　熊本市河川整備計画策定委員会

藻器堀川、保田窪放水路の
河川整備計画（たたき台）の概要について

令和3年11月

都市建設局 土木部 河川課

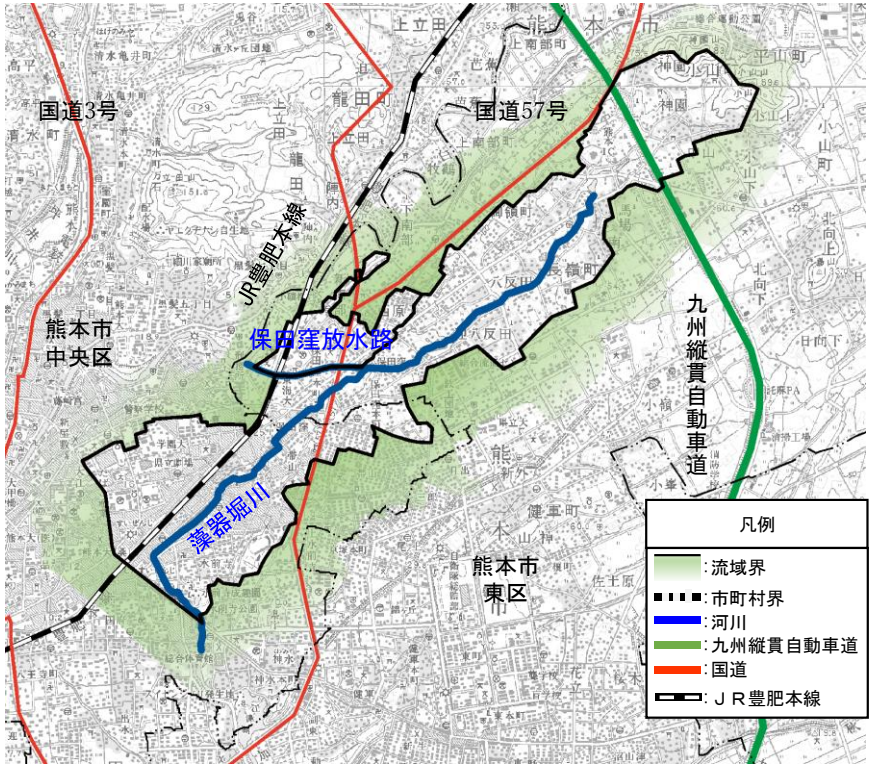
第１章　河川及び流域の概要

1　河川の状況

藻器堀川は、本市東区の長嶺町を起点、終点を加勢川合流点とする延長6.3km、流域面積8.5km2の一級河川。

河川名	河川区間		指定区間延長
	上流端	下流端	
藻器堀川	右岸：熊本市長嶺町大字長嶺字鐙田1105番地先 左岸：同市同町同大字字馬場居屋敷1007番地の2地先	加勢川合流点	6.3km
保田窪放水路	右岸：熊本市保田窪本町字田迎622番1地先 左岸：同市同町同字620番5地先	白川合流点	1.3km

▲一級河川指定区間



▲流域図

2　河川の概要

流域の約9割が宅地。河川水が伏流し、水面が見られない区間もあるが、降雨時には流域の雨水流入により急激に水位が上昇する都市河川。



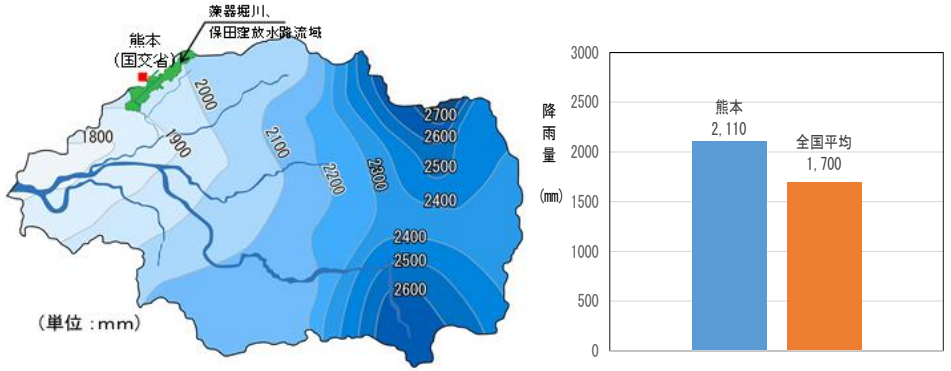
▲晴天時の伏流（宮園橋上流）



▲雨天時の水位上昇（同付近）

3　気候

年間平均降雨量は2,100mm程度であり、全国平均降雨量の約1.2倍。



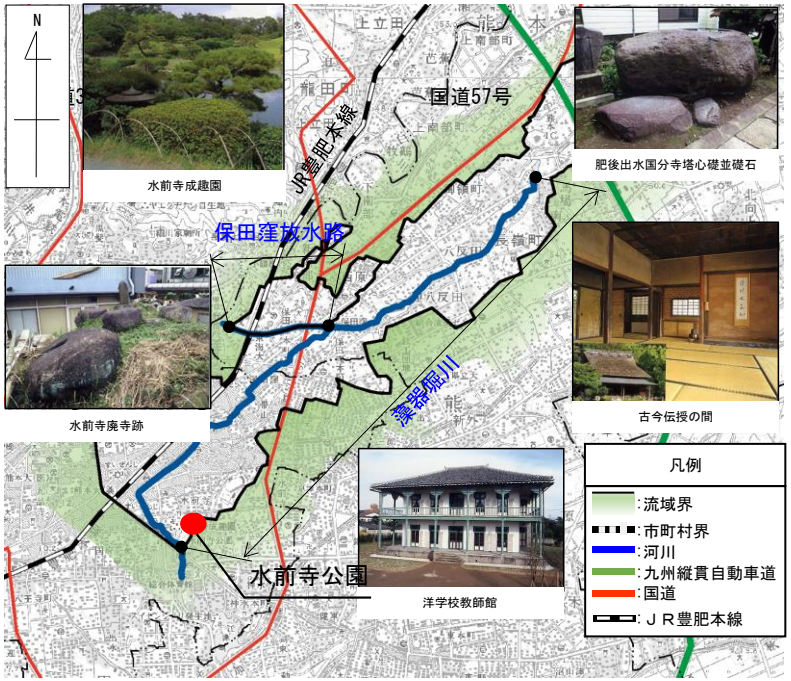
▲緑川流域の年間降雨量分布

4　歴史・文化

文化財等は、国指定史跡の水前寺成趣円がある。その他、県指定登録有形文化財として、古今伝授の間等が水前寺公園にある。

指定	指定区分			名称	指定年月日	所在地
国	記念物	史跡	名勝	水前寺成趣園	昭和4年12月17日	水前寺公園
県	有形文化財			古今伝授の間	昭和39年3月10日	水前寺公園
県	有形文化財			洋学校教師館	昭和46年4月21日	水前寺公園
市	記念物	遺跡	史跡	水前寺廃寺跡	昭和43年8月13日	水前寺公園
市	記念物	遺跡	史跡	肥後出水国分寺 塔心礎並礎石	昭和47年12月13日	水前寺公園

▲流域の文化財等一覧



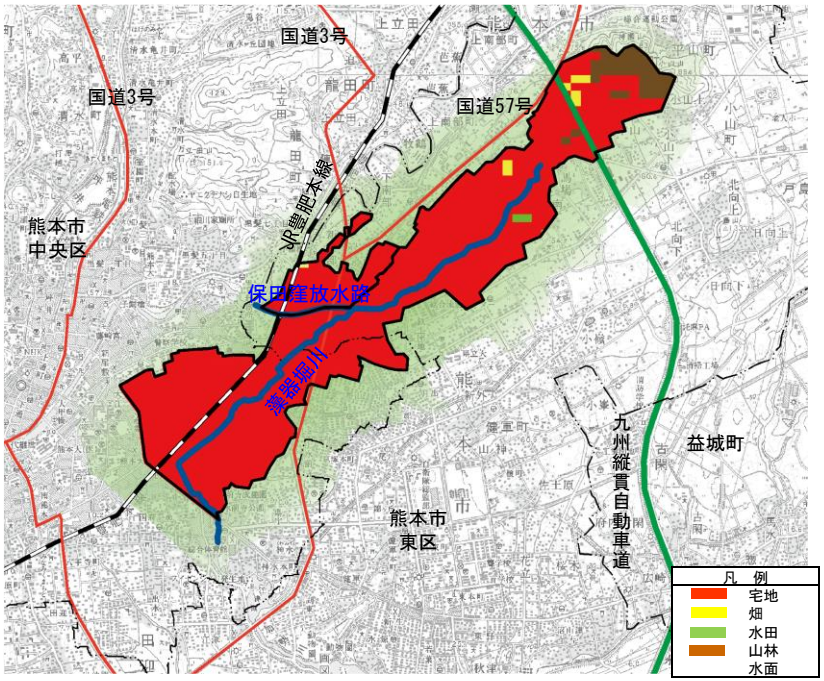
▲流域の文化財等分布図

5　土地利用

流域の約9割が宅地であり、残る約1割が田畑となっており、山林が占める割合は少ない。

河川名	流域面積（km2）	地目別面積（km2）				
		宅地	水田	畑	山林	水面
藻器堀川	7.80	6.83	0.07	0.41	0.46	0.03
保田窪放水路	0.70	0.68	0.00	0.02	0.00	0.00

▲流域の地目別面積



（国土数値情報　土地利用詳細メッシュデータ　H28年度50mメッシュ）

▲流域の土地利用状況図

１　治水の現状と課題

豪雨時に溢水が発生しており、上流部の未改修区間の整備を実施する必要がある。





▲上流未改修区間の洪水状況

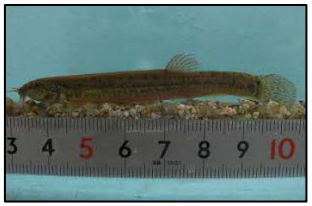
洪水発生年	洪水要因	時間最大降雨量（mm）	累積降雨量（mm）	被害状況
平成5年6月18日	梅雨前線	69	203	床下浸水　5戸 床上浸水　1戸
平成18年6月26日	梅雨前線	84	342	床下浸水　1戸 床上浸水　0戸
平成24年7月14日	梅雨前線	36	133	床下浸水　1戸 床上浸水　0戸

▲近年の主な洪水の概要

２　河川環境等の現状と課題

（１）河川環境

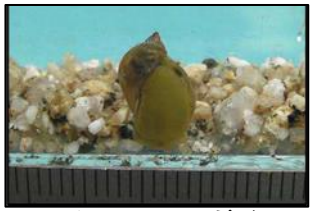
河床の堆積地に植生の群落ができ、水辺や少ない流水内に動植物の生態系がみられる。



▲ドジョウ



▲ミナミメダカ



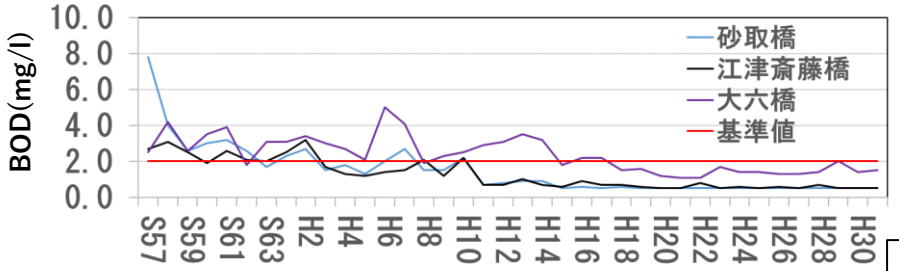
▲モノアラガイ

項目	科名	種名	カテゴリ
植物	トチカガミ科	ヒラモ	国RL：VU、県RDB：IB
	オオバコ科	カワヂシャ	国RL：NT、県RDB：NT
	シソ科	ミゾコウジュ	国RL：NT、県RDB：NT
藻類	ベニマダラ科	タンスイベニマダラ	国RL：NT
両爬哺	スッポン科	ニホンスッポン	国RL：DD
魚類	ドジョウ	ドジョウ	国RL：NT
	メダカ	ミナミメダカ	国RL：VU、県RDB：NT
底生動物	モノアラガイ科	モノアラガイ	国RL：NT
	ヒラマキガイ科	クルマヒラマキガイ	国RL：VU
	シジミ科	シジミ属	（マシジミの場合、国RL：VU）
	ヌマエビ科	カワリヌマエビ属	（ミナミヌマエビの場合,県RDB：DD）
陸上昆虫	タマムシ科	クロマダラタマムシ	県RDB：NT

▲希少な動植物

（２）水質

下水道事業の進捗などにより水質が改善され、平成11年以降は環境基準値を満足。

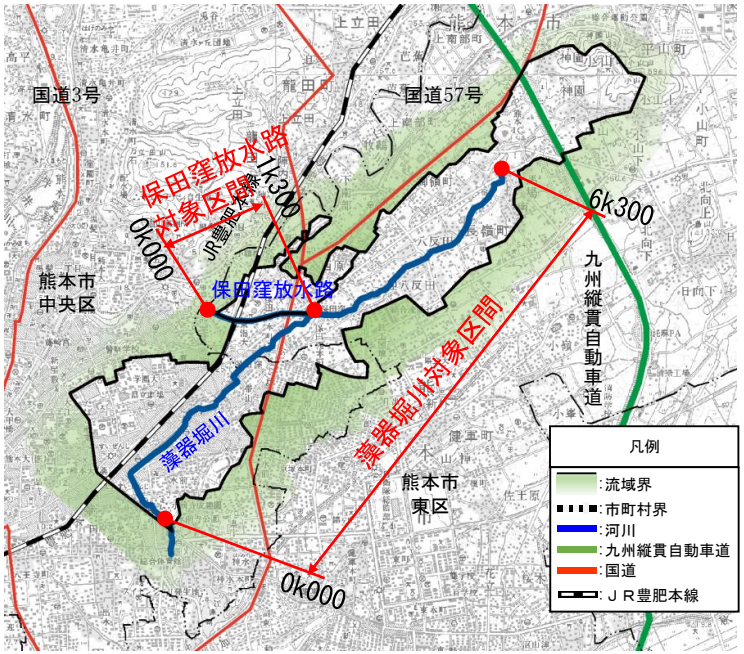


▲水質経年変化図（江津斎藤橋）

第３章　河川整備計画の対象と目標に関する事項

1　河川整備計画の対象区間

対象区間は、一級河川藻器堀川の指定区間。



▲河川整備計画対象の位置

河川名	河川区間		指定区間延長
	上流端	下流端	
藻器堀川	右岸：熊本市長嶺町大字長嶺字鐙田1105番地先 左岸：同市同町同大字字馬場居屋敷1007番地の2地先	加勢川合流点	6.3km
保田窪放水路	右岸：熊本市保田窪本町字田迎622番1地先 左岸：同市同町同字620番5地先	白川合流点	1.3km

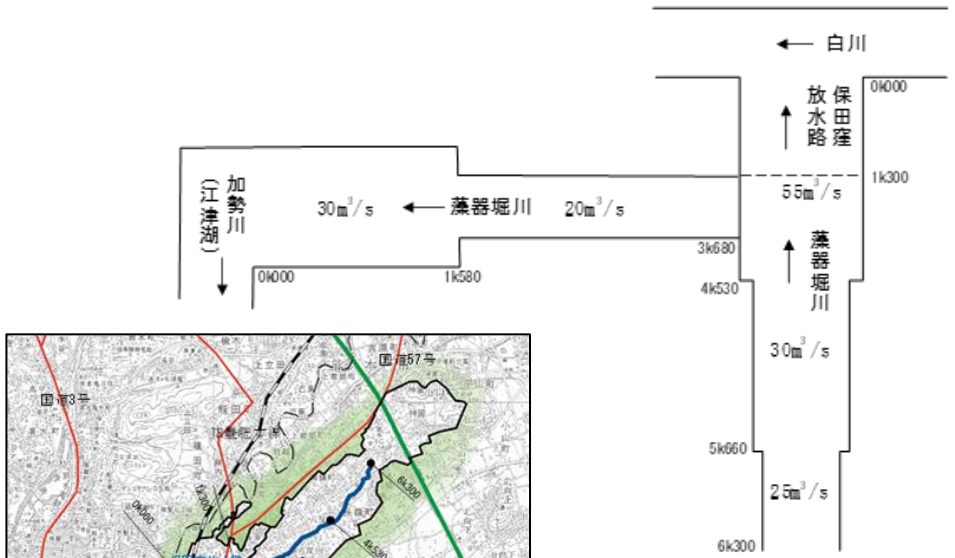
▲河川整備計画対象の区間

2　河川整備の対象期間

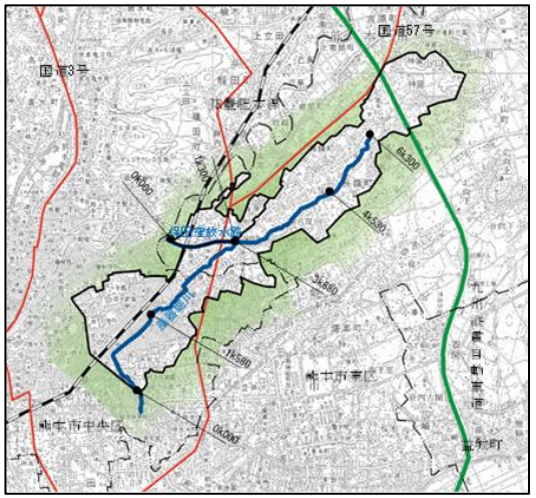
計画の対象期間は概ね30年。

3　災害発生の防止等に関する目標

概ね10年に1回発生する洪水を目標に河川整備。



▲流量配分図



▲施行対象区間

4　河川の環境整備と保全等に関する目標

生態系や自然環境へ配慮し、周辺と調和した景観形成。

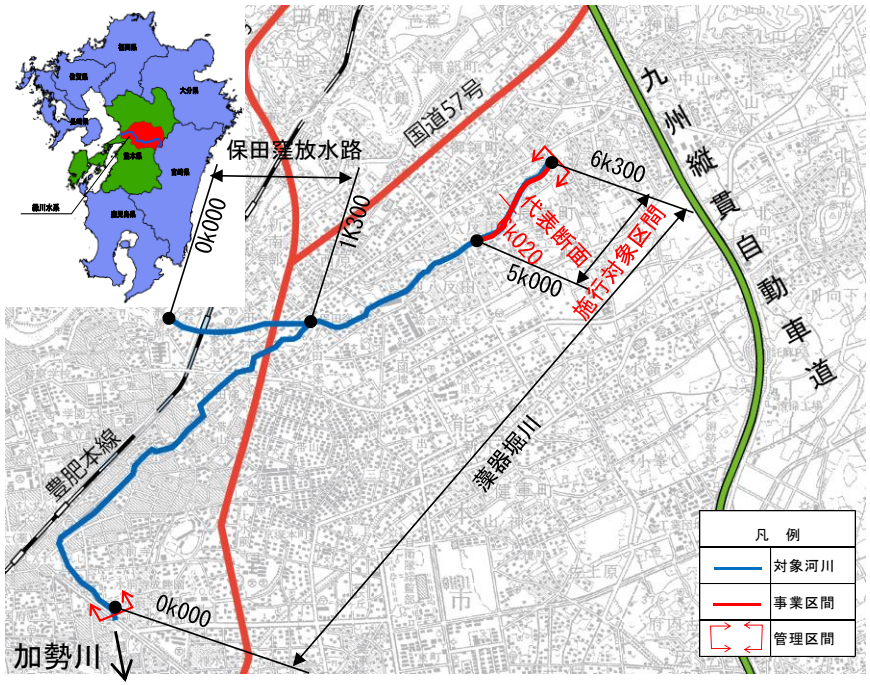
１　河川工事の目的、種類、場所等

（１）河川工事の目的、種類

概ね10年に1回発生する洪水を安全に流す河川整備。

（２）施工の場所

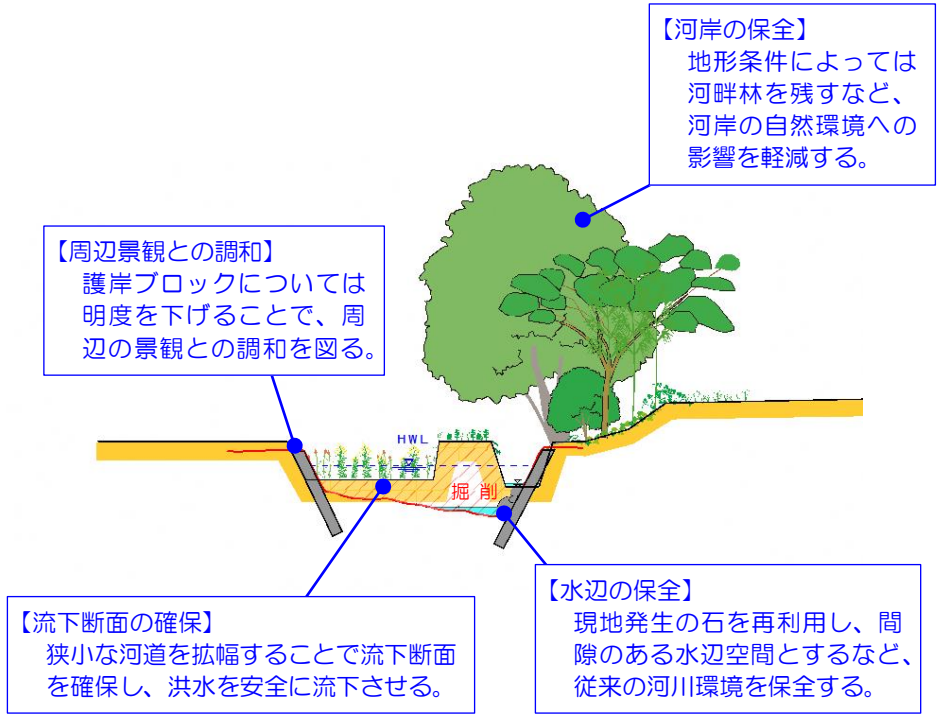
河川名	下流端	上流端	延長（km）
藻器堀川	測点5k000	測点6k300	1.30



▲施行区間の位置図

（３）改修方針

洪水の安全な流下と水辺の生物、景観等に配慮した河川整備。



第４章　河川整備の実施に関する事項

２　河川の維持の目的、種類、場所等

（１）河川維持の目的

災害発生防止、河川の適正な利用、環境保全等

（２）河川維持の種類

①河川管理施設の維持管理

・堤防・護岸及び河川工作物等の定期的な巡視、点検、整備
・施設の機能及び質的低下を防ぐための更新及び補修
・許可工作物の適切な維持管理に関する施設管理者への指導

②堆積した土砂や樹木の管理

・河道内に堆積した土砂や樹木の撤去

③河川の巡視

・不法投棄、不法占用等を防止するための河川巡視
・災害による被害が予想される場合や出水後は重点的な巡視
・異常箇所の早期発見

④水質の管理等

・水質保全についての啓発活動
・水質事故時の関係機関と連携した迅速な対応

（３）施行の場所

河川名	下流端	上流端	延長(km)
藻器堀川	測点0k000	測点6k300	6.30
保田窪放水路	測点0k000	測点1k300	1.30

３　その他河川整備の総合的事項

（１）河川愛護意識等の普及及び啓発

○河川愛護月間等を通じた美化意識の普及、啓発
○河川美化、愛護のための組織づくりの推進
○治水、河川環境に関する意識の向上

（２）住民参加と地域との連携による川づくり

○地域住民の自主的な活動に対し、「河川ふれあい美化ボランティア制度」などによる支援
○環境教育・環境学習の場として活用
○環境保全活動などの促進